

開催報告 長崎大学未来に羽ばたく女性研究者賞

長崎大学は、平成 28 年度に優れた研究成果を挙げた本学の若手女性研究者を学長より顕彰する「長崎大学未来に羽ばたく女性研究者賞」を創設しました。

これは、優れた研究結果を挙げた長崎大学の若手女性研究者を顕彰することによって、研究意欲を高め、学術研究の将来を担う優秀な女性研究者の育成及び男女共同参画の促進を目的としています。

第 7 回となる今年度は、令和 4 年 6 月 1 日から令和 4 年 8 月 19 日に公募を行い、選考委員会において慎重に選考を行い、優秀女性研究者賞および優秀女性奨励賞受賞者を決定しました。

受賞者研究発表会および授与式は、令和 5 年 1 月 26 日、文教キャンパススカイホールにおいて執り行いました。

[対 象]

本学において研究を行う本学所属の女性研究者で、かつ、男女共同参画を推進する活動に貢献してきた 50 歳以下の助教以上（教授除く）

[顕 彰]

優秀女性研究者賞 および 優秀女性奨励賞

[応募受付期間]

令和 4 年 6 月 1 日（火）～令和 4 年 8 月 19 日（金）

[受賞者]

優秀女性研究者賞： 赤澤祐子 教授 生命医科学域（医学系）
〃 作田絵里 教授 総合生産科学域（工学系）
優秀女性奨励賞： 高村敬子 准教授 生命医科学域（医学系）

[授与式・研究発表会]

令和 5 年 1 月 26 日（木）15：30－16：30 文教キャンパススカイホール

研究発表会は、3 人の受賞者からご発表頂きました。高村敬子准教授「カダバースージカルトレーニングにおけるクロイツフェルト・ヤコブ病の危険性について」、赤澤祐子教授「原爆被爆の医学的実相の継承と長崎被爆者組織を用いた放射線晩発障害の遺伝子変異シグネチャー解析」、作田絵里教授「典型元素を利用した新規光機能性錯体の創出」。それぞれこれまでの主な研究と今後の研究活動の展望について述べられました。学長からは、先生方の各分野において傑出された研究活動への称賛と、今後一層の活躍への期待が述べられました。また福永理事からも受賞者の研究の質の高さへの賛辞が述べられました。今後も女性研究者がその力を発揮し、広く活躍できるよう支援をしてまいります。



（左から永安武理事、福永博俊理事、高村敬子准教授、赤澤祐子教授、作田絵里教授、河野茂学長、吉田ゆりセンター長）